

2014年7月

民藝との出会いが磨いた美意識。その多彩な創作と収集。
生誕120年記念 デザイナー芹沢銈介の世界展

芹沢銈介の代表作品 69 点と、収集した世界各国の美術・工芸品 54 点を展示

2014年 9月10日(水)～9月23日(火・祝) 日本橋高島屋 8階ホール

会期：2014年 9月25日(木)～10月6日(月) 会場：横浜高島屋

会期：2015年 1月7日(水)～1月19日(月) 会場：京都高島屋

会期：2015年 1月21日(水)～2月2日(月) 会場：大阪高島屋

※3月17日(火)～6月17日(水) 仙台・東北福祉文化大学芹沢銈介美術工芸館にて開催

主催：朝日新聞社、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

協力：静岡市立芹沢銈介美術館、日本民藝館、柏市

監修：長崎 巖（共立女子大学 教授）、芹沢恵子（東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 副館長）

入場料：一般 800 円、大学・高校生 600 円、中学生以下無料

入場時間：午前 10 時～午後 7 時 30 分（8 時閉場）、最終日は午後 5 時 30 分まで（6 時閉場）

高島屋では、2014年9月10日（水）～9月23日（火・祝）まで、日本橋高島屋 8 階ホールにて、「生誕 120 年記念 デザイナー芹沢銈介の世界展」を開催いたします。

型絵染の人間国宝、芹沢銈介（1895～1984 年）は、柳宗悦との出会いをきっかけに民芸運動に共感し、沖縄の紅型から、独自の型絵染を創始したことで知られています。その多彩な創作活動を通観すると、染色作家という枠では語り尽くせない、色彩と造形の魔術ともいべき世界が広がり、卓越したデザイナーであったとわかります。

生誕 120 年を記念して、第 1 部「デザイナー芹沢銈介～多彩な造形表現」と第 2 部「芹沢銈介の目～収集した世界各国の美術・工芸品」の 2 部構成で、その美意識と感性にせまります。



いろは文六曲屏風 1958
 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵



縄のれん文のれん 1955
 柏市蔵

【報道関係者のお問合わせ先】（掲載不可）

株式会社 高島屋 広報・IR 室 中村・桑原・三尾（ミオ） TEL:03-3246-5534

広報代行：株式会社ブレインズ・カンパニー 担当：杉本・村山

TEL: 03-3568-3844 FAX: 03-3568-3838 E-mail: sugimoto@pjbc.co.jp

■ 展示構成

第 1 部 デザイナー芹沢銈介 - 多彩な造形表現

芹沢銈介の作品を 4 つの視点で選び、屏風やのれん、着物、帯などの 69 点を紹介します。

(1) 文字と遊ぶ



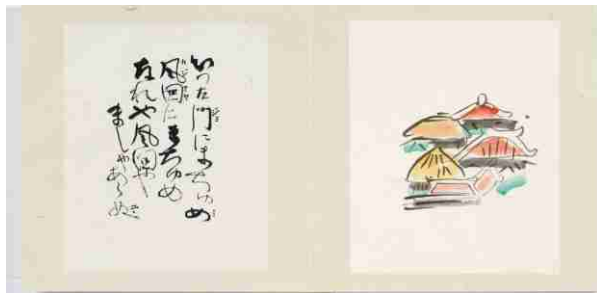
布文字春夏秋冬二曲屏風
1965 静岡市立芹沢銈介美術館蔵

(2) 伝統の中の新しさ



御滝図のれん 1962 柏市蔵

(3) 琉球への思い



琉球愛誦折帳 1970 頃 個人蔵

(4) 斬新な試み



型絵染筆彩着物 1976 柏市蔵

第 2 部 芹沢銈介の目～収集した世界各国の美術・工芸品

芹沢銈介が収集した美術・工芸品は、静岡市立芹沢銈介美術館に約 4,500 点、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館に約 1,000 点寄贈されました。その中から 54 点を選び、芹沢の心を揺さぶり、内なる美意識を刺激したものに共通する「芹沢銈介の目」をさがります。



カチナ仮面 (アメリカ合衆国・ホピ族)
1900 年頃 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵



舞踊用頭飾り (マリ共和国)
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵

■ 芹沢銈介 プロフィール

1895 (明治 28) 年	5 月 13 日	静岡市の呉服太物卸小売商、 大石角次郎・あいの次男として生まれる
1916 (大正 5) 年	21 歳	東京高等工業学校工業図案科卒業、静岡に帰る
1917 (大正 6) 年	22 歳	芹沢たよと結婚、芹沢姓になる
1919 (大正 8) 年	24 歳	静岡県立静岡工業学校教授嘱託になる
1921 (大正 10) 年	26 歳	大阪府立商品陳列所図案課技師になり、国内外の図案を調査研究
1925 (大正 14) 年	30 歳	芹沢主宰「このはな会」の作品が 「第二回全国家庭手芸品展覧会」で最高賞受賞
1927 (昭和 2) 年	32 歳	朝鮮旅行中に柳宗悦の論文「工藝の道」を読み感動 柳が芹沢の蒐集した小絵馬を見るために芹沢家を訪問
1928 (昭和 3) 年	33 歳	上野恩賜公園で開催された「大正記念国産振興博覧会」の 「民藝館」で沖縄の紅型風呂敷に出会う
1931 (昭和 6) 年	36 歳	創刊された『工藝』に型染で表紙装丁をする
1934 (昭和 9) 年	39 歳	静岡から一家で上京し、東京・蒲田に工房をもつ
1939 (昭和 14) 年	44 歳	初めて沖縄を旅行し、紅型の技法を習得する
1956 (昭和 31) 年	61 歳	「型絵染」で重要無形文化財保持者に認定される
1963 (昭和 38) 年	68 歳	大原美術館の芹沢銈介室と棟方志功室が落成する
1966 (昭和 41) 年	71 歳	中東とヨーロッパを旅行する。紫綬褒章を受章
1976 (昭和 51) 年	81 歳	パリのグラン・パレで「芹沢銈介展」が開催される
1981 (昭和 56) 年	86 歳	静岡市立芹沢銈介美術館開館。フランス芸術文化功労章を受章
1984 (昭和 59) 年	88 歳	4 月 5 日死去
1989 (平成元) 年		東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館開館

■ 「-用の美とところ- 民藝展」同時開催

同展にあわせ、「-用の美とところ- 民藝展」を開催。全国各地から選りすぐった民藝品を展示・即売する他、現代に受け継がれる芹沢銈介デザインによる作品もご紹介いたします。日本橋高島屋、横浜高島屋では、松本民芸家具による昭和初期の芹沢デザインを再現した「バタフライテーブル」の復刻販売、また、京都高島屋、大阪高島屋では、吉田璋也と鳥取民藝の特集企画をご覧ください。

2014 年 9 月 10 日 (水) ~ 9 月 23 日 (火・祝)	日本橋高島屋 8 階催会場
2014 年 9 月 25 日 (木) ~ 9 月 29 日 (月)	横浜高島屋 8 階催会場
2015 年 1 月 7 日 (水) ~ 1 月 12 日 (月)	京都高島屋 7 階催会場
2015 年 1 月 21 日 (水) ~ 1 月 26 日 (月)	大阪高島屋 7 階催会場

※「デザイナー芹沢銈介の世界展」とは会期終了日が異なります。